

第7章

MHL 教育実施の計画を立てる

1 節 MHL 教育へのニーズをアセスメントする

1 項 なぜニーズをアセスメントすることが必要か

学校の外部に属する者には、学校の内部で何が行われ、何が現在の課題になっているのかはわかりません。課題がわからないまま学校へ行き、教育を実施したとしても、対象者となる生徒や教員、保護者が大きく変化することには限界があるでしょう。その学校がかえるニーズをアセスメントし、対象者たちが現在直面している課題をあきらかにしたうえで授業をするほうが、教育効果は期待できます。事前に対象者のニーズを把握すれば、教育内容に反映できるからです。

2 項 地域（学校）のニーズを把握する方法

学校において対象者のニーズを測定する方法は、調査やインタビューがあります。対象はその学校全体や学年全体、あるいは学区や地域全体も含まれます。おおむね表1のような対象や方法でニーズを把握しています。

学校の生徒を対象とした調査の例を示します（表2）。

表1 ニーズ把握の方法

ニーズアセスメントの対象	方 法	査定する内容
地域全体	地域アセスメントを行う (資料の収集・当該地域にある 複数の学校を対象とした調査)	地域の属性 保護者の職業の偏り 地域の文化 地域に根付く考え方や生徒の傾向 過去に対象地域で起こった学校を巡る出来事 地域のメンタルヘルス上のニーズ
学 校	生徒・保護者・教員のニーズ調査 (調査・インタビュー)	メンタルヘルスに関する知識度 メンタルヘルスに関するイメージ 専門家に対する態度 精神健康度 悩みの実態や対処方法 など

表2 生徒を対象としたアンケートの例

☆☆あなた自身のことについてうかがいます☆☆

問1 あなたには日ごろのなやみを相談できる人が何人いますか。

1) 0人。	2) 1人。	3) 2~4人。	4) 5~9人。	5) 10人以上。
--------	--------	----------	----------	-----------

問2 あなたはこの1年間にころになやみを持ち、精神的に調子がよくないと感じたことがありましたか。

1) しばしばあった。	2) 何回があった。	3) 1回あった。	4) なかった。
-------------	------------	-----------	----------

問3-1 問2で 1) しばしばあった ~ 3) 1回あったと答えた方だけお答えください。

① その内容を何でしたか。あてはまる内容すべてに○をつけてください。

1) 学業のこと	2) 部活のこと	3) 身体の悩み
4) 将来のこと	5) 自分の外見のこと	6) 自分の性格のこと
7) 友達との関係	8) 異性との関係	9) 親との関係
10) 先生との関係	11) その他()	

② その悩みの内容を詳しく、答えられる範囲でお答えください。

--

③ あなたが悩みをもった結果、自分のころや身体に何か変化が起きましたか。あてはまるところすべてに○をつけてお答えください。

1) 夜よく眠れなかった。	2) 食欲がなくなった。	3) イライラしたり、怒りっぽくなった。
4) 人と話したくなかった。	5) 不安や焦りを感じた。	6) 寝おぼれたり、ゆううつになった。
7) 集中力や注意力がなくなった。	8) 考えがまとまらなくなった。	9) 生きていてもしかたがな気がした。
10) その他()	11) 特にあてはまらない。	

問3-2 問2で 1) しばしばあった ~ 3) 1回あったと答えた方だけお答えください。

ころになやみを持ち、精神的に調子がよくないと感じた時、あなたはストレスを軽くする方法を何か実施しましたか。実施したことがあれば何でもお書き下さい。

～ストレスを軽くするためにあなたが実施したこと～ (なんでも自由にお書きください)

問3-3 問2で 1) しばしばあった ~ 3) 1回あったと答えた方だけお答えください。

ストレスを軽くする方法を実施することによってあなたの悩みは解消されましたか。以下の中からあてはまるところ一つに○をつけてお答えください。

1. そうだと思う。	2. ややそう思う。	3. どちらともいえない。	4. あまりそう思わない。	5. そう思わない。	6. 実施していません。
------------	------------	---------------	---------------	------------	--------------